

# 平成30年度 学校評価計画書

海田町立海田小学校

## 海田町学校教育施策の方針

### 「夢を持ち、夢を語ることでできる」児童生徒の育成

#### 学校教育目標

夢への挑戦「自ら学び 自ら伸びる」

#### めざす児童像

聞いて 考えて 行動できる子ども

自他を大切にする子ども

目標をもち ねばり強く取り組む子ども

体力づくりに励む子ども

#### 現状の分析

##### 知

- ・標準学力調査において、基礎的問題は通過率が60%未満の児童が4.9%いる。
- ・ほとんどの学年が全教科の活用問題で全国平均・県平均を上回ることができたが、国語で下回った学年があった。
- ・読書の取組の充実を行ったが、さらに必然性のある取組を行う必要がある。
- ・主体的で学びあいのできる授業に本年度も継続して取り組む。

##### 徳

- ・「海小輝き発見部屋」の有効活用、全員表彰等により自尊感情が高まってきている。
- ・気持ちの良い挨拶ができる児童が増えているが、決まった場所や人以外にはできにくい。
- ・すみずみまで掃除をする意識は高まってきた。さらに質を高めていく必要がある。

##### 体

- ・絞り込んで、走力、握力を高めるための方法を紹介することで成果が見られた。
- ・遊びの紹介をしたり外遊びの機会を設けたりする必要がある。
- ・学校を休まずないという意識は高まりつつあるので、今年度も継続して取り組む。

#### 本年度重点目標

##### ★確かな学力の定着

- ・資質・能力の育成
- ・主体的な学習のある授業づくり

##### ★豊かな心の育成

- ・自尊感情の育成
- ・共感的人間関係の育成

##### ★体力・耐力の育成

- ・進んで体力づくりに励む児童の育成
- ・欠席0への意欲づけ

#### 評価項目

##### ○確かな学力の定着

- ①音読・多読を取り入れた主体的な学びのある授業づくり
- ②学力の基礎となる読書活動の充実
- ③個別指導・確かな学力の充実  
⇒基礎問題通過率60%未満の児童を0に近づける。

##### ○豊かな心の育成

- ①「いつでも・どこでも・誰にでも」の気持ちの良い挨拶  
⇒立ち止まって挨拶をする、海小スタイルを確立、発展させることにより自尊感情、共感的人間関係を育成する。
- ②黙って行う丁寧な掃除  
⇒縦割り活動による共感的人間関係の育成。質の高い掃除の仕方が身に付くことによる自尊感情を育成する。

##### ○体力・耐力の育成

- ①体育の授業改善・外遊びの奨励  
⇒進んで体力づくりに取り組む児童を育成する。
- ②生活リズムカレンダーの効果的な活用  
⇒生活リズムを整えて元気に登校する。